



※下記文書はJGAより正式に頂いたものを掲載しております。



For Immediate Publication

R&AとUSGAはグリーンリーディング資料の使用についての制限をまとめました。

パッティンググリーンマップのサイズと縮尺についての制限が設けられましたが、プレーヤーやキャディーによる手書きのメモは引き続き認められます。

2018年10月15日、スコットランド、セントアンドリュースとUSA、ニュージャージー州・リバティーカーナー:
R&AとUSGAは

2019年1月1日から施行されるゴルフのグリーンリーディング資料の使用に関する最終的な解釈を発表しました。

この規則4.3（用具の使用）の新しい解釈は、6週間の意見聴取期間を経て採用されました。そうした資料を使用できる方法を定める一方で、自分の判断力でグリーンを読むというゴルファーの能力は保持すべき本質的な技量であるという統括団体の見解を再確認しています。

この解釈ではラウンド中にプレーヤーがパッティンググリーンの自分のラインを読む支援として使うことができる詳細なパッティンググリーンマップや同様の電子的/デジタル資料のサイズと縮尺を制限しています。

デービッド・リックマン氏（R&A エグゼクティブディレクター・ガバナンス）は、「私たちはこの6週間の期間に、この制限をまとめるための手助けとなるとも有益なフィードバックを受け取りました。プレーヤーの技量と判断力がグリーンを読むときの主要な成功要素であるようにすることが重要です。この新しい解釈はその過程の第一歩であり、さらなる行動が必要であるかどうかを評価するために2019年にも引き続きグリーンリーディング資料の見直しを行っていきます。」と述べています。

トーマス・ペーゲル氏（USGA シニアマネージングディレクター・ガバナンス）は「こうした最新の修正はこの解釈を理解してコースで適用し易くするとともに実際的な変更を規定しています。ゴルファーがゲームを楽しむ支援となる情報は引き続き認められる一方で、私たちはグリーンを読むという本質的な技量を守る明確な解釈を特定する過程を通じて私たちが作業していく際にフィードバックを寄せてくれたすべての方々の意欲に感謝しています。」と述べています。

ゴルファーはパッティンググリーンマップや他のパッティンググリーン情報を引き続き使うことができますが、下記の制約を受けます：

- パッティンググリーンの画像の縮尺は5ヤードに対して3/8インチ（1:480）以下に制限される（「縮尺」の制限）。
- パッティンググリーンのマップや画像を含む本や他の紙は4 1/4 インチ（10.8cm）×7インチ（17.8cm）を超えてはならない（「サイズ」の制限）。ただし、1枚の紙に9ホール（あるいはそれ以上）を表示している「ホールロケーションシート」は、単一のパッティンググリーンの画像が縮尺の制限に適合していることを条件にそれよりも大きくてもよい。
- プレーヤーが普段装着している度付き眼鏡やコンタクトレンズ以外でパッティンググリーン情報を拡大することは認められない。
- パッティンググリーンについて手書きやメモで書き入れた情報はサイズ制限に適った本や紙にプレーヤーやそのキャディーが自分で書き込む場合にだけ認められる。
- この最終的な解釈は電子的あるいはデジタルのパッティンググリーンマップは紙ベースの資料と同じ制限に従っていない限りならないことも明確に定めています。プレーヤーは下記を含むこの制限の目的に適合しない機器を使用すると規則4.3の違反となります。

- 縮尺やサイズの制限を超えてグリーンの描写のサイズを拡大するもの。
- プレーヤーの球の位置（あるいは推定位置）に基づく推奨されるプレーの線を提示するもの（規則4.3a(1)参照）

意見聴取期間を経て当初の提案になされたいくつかの変更で削除されたのは、(1)4%という最小傾斜表示制限と(2)詳細なグリーンマップのコピーや複製を作成するための手描きのノートを使うことの禁止です。

当初の提案に加えられた新しい事項は、(1)印刷した本や資料のサイズの制限（ポケットサイズに限定）、(2)パッティンググリーン情報を拡大することの禁止、(3)手描きやメモで書き入れた情報はサイズ制限に適った本や紙にプレーヤーやそのキャディーが自分で書き込まなければならないという要件を含みます。

R&AとUSGAは更なる修正が必要かどうかを検討するために、この新しい解釈の影響を確認するときにはグリーンリーディング資料の将来的な進展と使用を引き続き評価していきます。

新しい規則についてのさらなる情報はwww.RandA.org や www.USGA.org を閲覧してください。

編集者への注：

R&Aについて

セントアンドリュースに本拠地を構えるR&Aは、The Open、エリートアマチュアイベント、国際マッチ、そしてランキングを運営しています。R&AとUSGAは共同してゴルフというスポーツを世界的に統轄しており、それぞれ別の管轄下で運営しながらも、ひとつのゴルフ規則、アマチュア資格規則、そして用具基準を施行することの責任を分かち合っています。R&Aはアメリカ合衆国とメキシコを除く全世界を管轄しており、155のアマチュアやプロフェッショナルの団体の同意を得て、143ヶ国で3,600万人を超えるゴルファーのために活動しています。

R&Aはゴルフのための活動に責任を持っており、国際的なこのスポーツの成長と持続可能なゴルフ施設の開発やマネージメントを支援しています。

R&Aについてのさらなる情報は www.randa.org にアクセスしてください。

USGAについて

USGA は10のナショナルアマチュアチャンピオンシップと2つのステート（州）チームチャンピオンシップ、そして国際マッチに加えて、U.S.オープン、U.S.女子オープン、そしてU.S.シニアオープンを開催し、世界中のプレーヤーやファンを魅了しています。R&Aと共に、USGAはこのゲームを世界的に統轄しており、共同してゴルフ規則、アマチュア資格規則、そして用具基準を施行したり、世界アマチュアゴルフランキングを運営しています。活動管轄はアメリカ合衆国、その準州、そしてメキシコとなります。

USGAは持続可能なゴルフコース管理方法の開発と支援における世界的な権威団体の1つです。USGAはこのゲームの歴史の主要な管財人であり、USGA基金のサービス展開と活動を通じてゴルフの発展に投資しています。加えて、USGAのコースレーティングとハンディキャップシステムは6つの大陸で使われています。

USGAに関するさらなる情報は www.usga.org にアクセスしてください。

メディア連絡先：

Mike Woodcock, Director of Corporate Communications, The R&A

mikewoodcock@randa.org +44(0)7584 071 246

Janeen Driscoll, USGA Director of Communications

jdriscoll@usga.org +001 910-690-9711

グリーンリーディング資料の使用を制限する解釈 4.3a/1 に関連する下記の質疑応答は新しい規則がされる 2019 年 1 月に発効します。

1. グリーンリーディング資料の使用の制限はどのような場合に適用されますか？

この解釈は、グリーンを読むというプレーヤーの能力がパッティング技術の不可欠な部分として残るように、プレーヤーがパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援のためにラウンド中に使用することができる資料を制限しています。その結果として、この制限は次のストロークに適用されます：

- パッティンググリーン上でプレーヤーが行うすべてのストローク。
- どこからであっても、プレーヤーの意図が球をそのパッティンググリーン上に止めようとしている場合に、パターで行うストローク。

2. プレーヤーは規則 4.3 に違反せずに「縮尺の制限」に適合していない画像を含んでいたり、その本体が「サイズの制限」に適合していないヤーデージブックやグリーンブックを使用することができますか？

プレーヤーはパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援のために「縮尺」や「サイズ」の制限に適合しないヤーデージブックやグリーンブックを使うことは認められません。

しかしながら、プレーヤーはそうした冊子を罰なしに別の理由で使うことができます（グリーンへのアプローチショットをプレーする場合に、パッティンググリーンの一般的な傾斜を判断することを含み、そのアプローチショットをどれだけ遠くに、またどこに打つのかを判断するためや、自分の次のストロークのために球を止めたいと思う望ましいパッティンググリーン上の位置を判断するためなど。ただし、どのような場合もプレーヤーがそのストロークでパターを使わないことが条件となります）。

3. プレーヤーやキャディーが手描きしたパッティンググリーンの画像はこの解釈の「サイズの制限」に適合している必要ありますか？

はい。その詳細さのレベルによらず、どのような手描きのメモ（パッティンググリーンの手描きの画像を含む）であっても 4¼ インチ（10.8cm）×7 インチ（17.8cm）のサイズの制限に適合している本や紙の上に描かれていなければなりません。

4. プレーヤーやキャディーが手描きしたパッティンググリーンの画像はこの解釈の「縮尺の制限」に適合している必要ありますか？

いいえ。手描きの画像は「縮尺の制限」に適合している必要はありません。そうした手描きのメモについての唯一の制限は、サイズの制限に適合している本や紙の上に表示されていなければならないということです（上記質問3）。

5. プレーヤーはアプローチショットのためのプレーの線を判断するためにサイズの制限を超えたパッティンググリーンマップの画像（例えば、8½ インチ（21.6cm）×11 インチ（27.9cm）の紙に描かれている）を使うことができますか？

はい。そのプレーヤーがそのストロークでパターを使わない限りは、サイズの制限を超えたパッティンググリーンマップの画像を使うことができます。

6. プレーヤーやキャディーがコンピュータデザインプログラム（コンピュータ支援設計（CAD））を使って作成したメモは「手描き」とみなされますか？

いいえ。「縮尺の制限」や「サイズの制限」に適合するパッティンググリーンマップを作成するために CAD を使うことはできますが、「手描きの」メモの規定はプレーヤーやキャディーが物理的に手描きしたメモにだけ適用されます。

7. プレーヤーやキャディーは別のプレーヤーやそのキャディーが手描きしたメモをコピー（複写など）してそのコピーをパッティンググリーン上でプレーの線を判断する支援のために使うことができますか？

いいえ。コピーしたメモをパッティンググリーン上でプレーの線を判断する支援のために使うことは別のプレーヤーやそのキャディーのメモを使うことと同じことであり、そうしたことは認められません。

8. 冊子の中の複数の画像が「縮尺の制限」を超えている場合、プレーヤーは縮尺の制限に適合するよう画像を縮小するためにコピー機を使うことができますか？

はい。コピー機を使うことができます。

9. プレーヤーはパッティンググリーン上でプレーの線を判断するために 18 ホールのうち 1 ホールは縮尺の制限に適合していないグリーンを含む冊子を使うことができますか？

はい。しかし、そのプレーヤーは縮尺の制限に適合していないグリーンを含む冊子のホールではそのパッティンググリーン上でプレーの線を判断するためにその冊子を使うことは認められません。

そのプレーヤーは縮尺の制限に適合している 17 ホールのグリーンを含む冊子の画像を、パッティンググリーン上でプレーの線を判断することを含め、どのような方法でも使うことが認められます。

10. キャディー同士はラウンド前やラウンドとラウンドの間に情報交換してお互いのメモを手描き複製することができますか？

はい。手描きのメモについての制限は、パッティンググリーンについての手描きの情報はプレーヤーやキャディーによって物理的に手描きされたものでなければならないということだけとなります。そのことは、たとえそれが既成の資料や別のプレーヤーやそのキャディーのメモを手描きで複製することであっても、プレーヤーやキャディーがその情報を入手する方法を制限していません。

11. プレーヤーがキャディーA を使ってラウンドを始めたが、そのラウンドの途中でキャディーBに変わった場合、そのプレーヤーとキャディーB はパッティンググリーン上でプレーの線を判断する支援のためにキャディーA が作成した手描きのメモを含むヤーデージブックやグリーンブックを使うことができますか？

プレーヤーがラウンド中にキャディーを替えるという限定的な状況（例えば、キャディーA が病気になる）においては、そのプレーヤーはそのラウンドの残りでキャディーA とキャディーB の両方の手描きのメモを引き続き使用することが認められます。しかしながら、その次のラウンドでは、そのプレーヤーおよび/または使用中のキャディー（そのラウンドで雇われたキャディー）によって手描きされたメモだけをパッティンググリーン上でプレーの線を判断する支援のために使うことができます。

12. 競技中のラウンドとラウンドの間（あるいは競技がシーズンごとに同じコースでプレーされる場合）、プレーヤーがキャディーA からキャディーB に替えた場合、そのプレーヤーとキャディーB はパッティンググリーン上でプレーの線を判断する支援のためにキャディーA が作成した手描きのメモを含むヤーデージブックやグリーンブックを使うことができますか？

いいえ。パッティンググリーンについての手描きの情報はそのプレーヤーおよび/またはそのキャディーによって書かれた場合にだけパッティンググリーン上のプレーの線を読むために使うことができます。「そのキャディー」とはそのラウンドでプレーヤーが雇ったキャディー（キャディーB）を意味しています。しかしながら、そのことはキャディーB がそのラウンドが始まる前に、キャディーA が以前に作成した手描きのメモを、手描きで複製することを禁止していません。

13. アドバイスギバーとして指名されたコーチやキャプテンは、プレーヤーの冊子にメモを書き入れ、アドバイスを与えるときに自分の冊子をプレーヤーに見せることができますか？

はい。この解釈では、いかなるメモもプレーヤーやキャディーが作成したものだけに制限されると規定していますが、特定のラウンドで委員会にアドバイスギバーを届け出ている場合、そのアドバイスギバーの冊子やそのメモはそのプレーヤーのキャディーのメモと同じように扱われます。

14. フォアサムやフォアボール競技で、プレーヤーは自分のパートナーやそのパートナーのキャディーのメモを使うことができますか？

はい。この解釈では、いかなるメモもプレーヤーやキャディーが作成したものだけに制限されると規定していますが、規則 22.2 と規則 23.5a はパートナーやパートナーのキャディーはガイドスを与えることができると明確に規定しています。

しかしながら、そのプレーヤーがその冊子とそのコースでの次のラウンドや競技で使う予定がある場合、そのプレーヤーの冊子にそのパートナーやそのパートナーのキャディーが書き入れたメモはそのプレーヤーがパッティンググリーン上でプレーの線を判断する支援のために将来のラウンドで使うことは認められません（ただし、そのプレーヤーがそのラウンドで同じパートナーやパートナーのキャディーを持つ場合を除く）。

注：ヤーデージブックの製作会社は、その冊子の全体のサイズと共にグリーン画像の縮尺をその冊子のカバーや図面の凡例の中に表示することを奨励します。例えば：

パッティンググリーンの画像は縮尺 5 ヤードに対して 3/8 インチ
冊子のサイズは 6 インチ×4 インチ